

みんなで仲良く、わきあいあい

# あいあい

あらかわシルバーだより

第99号 平成27年4月号

編集・発行：公益社団法人

荒川区シルバー人材センター

〒116-0012 荒川区東尾久4-32-7

TEL 03-3810-1141

FAX 03-3810-5750

ホームページ <http://www.arakawa-sc.or.jp/>



## 『あいあい』をリニューアルしました

会報紙『藹藹(あいあい)』は、おかげさまで第99号を迎えることができました。会員の皆様により一層充実した情報、タイムリーな情報をお届けするため、節目となる第100号の発行を迎える今年度から、『事務局だより』と統合して、毎月発行することとしました。会報紙名についても現状の格式ある『藹藹』から、より親しみやすいひらがな表示で

『あいあい』にリニューアルしました。あいあい編集会議は、センター事務局が進行管理を行い、新たに4名の取材班を置くこととしています。取材班は中島美紀子、竹内教子、鈴木幹雄、安田満会員です。イベント情報、会員情報などこれまで以上に取材を通じて、より早くより温かくお伝えしてまいります。ご期待下さい。

平成27年3月14日(土)・15日(日)

## 第36回荒川区産業展に出展

平成27年3月14日(土)・15日(日)、荒川総合スポーツセンターに於いて第36回荒川区産業展が開催されました。14日午前9時15分より開会式典があり、最初に西川区長が、「この『産業展』を起爆剤に産業を再活性化させたい。」と挨拶されました。今年は113企業・事業所が出展し、靴や毛皮製造・象牙細工・ガラス細工・宝飾品化工等、多岐にわたる出展でした。シルバー人材センターは、今年も会員及び就業の拡大に向けての出展です。両日、早朝より役員及び事務局の職員がPRグッズの配布と来場者の質問等に対応されるなど、盛んな広報活動を展開していました。少子高

齢化の進行は、荒川区も例外ではなく、暮らしのお手伝いとしてのシルバー人材センターの存在意義は益々重要となってくるでしょう。



会員数(平成27年3月末現在) 1,621人(男性:1,029人、女性592人)

## 今月の1日サロン

開催日 4月30日(木)と5月1日(金)

会場 センター2階



お茶飲み  
談話コーナー

健康相談 30日のみ  
(1階ロビー)

展示コーナー

自転車点検コーナー  
(1階駐車場)

パソコンコーナー

## 川の手荒川まつりに参加します!

■日時: 4月29日(水・祝) 午前10時～午後4時

■会場: 南千住野球場(スポーツセンターの隣)

シルバーのテントは「福祉チャリティーコーナー」の中にあります。ご家族、お友達、お誘いあわせでお越しください。



## 安全管理委員会 からのお知らせ

4月になり新年度がスタートいたしました。今年度は事故、特に自転車事故を1件でも減らすことを目標に活動してまいります。

事故を減らすためには、会員の皆様、一人ひとりの協力なくしてはあり得ません。

「自転車事故を減らすためには、自転車に乗らない努力から。可能な限り歩きましょう。」

新年度のスタートと共に、事故の発生防止のための再確認をお願いします。



## 理事会だより

平成26年度第12回定例理事会(3月18日開催)

新年度を迎えるにあたり、重要なセンターの事業計画、収支予算を始め、総務事業、広報、安全管理の3つの委員会の実施計画案が審議されました。

これらの計画の基本には、センターの今後5カ年の目標を定めた「中長期計画」が同時並行に策定作業が進められ、平成27年度はその計

画を実践する初年度となります。

また、理事、監事の選任など新たな執行体制の確認を行うことができました。

報告事項では、平成27年2月分事業実績が、前年度同月と比較して、約333万円の増加となったことが報告されるとともに、荒川シルバーの日PR活動の半年間の活動状況が報告されました。

## 就業機会創出員交代のお知らせ

長い間、就業機会の拡大や安全就業の確保に努めてきた小野田創出員が3月末で退任しました。お疲れ様でした。後任は鈴木創出員となります。

## 就業相談は随時行っています

事前に電話等で創出員の在席を確認してから、センター2階の「就業機会創出員室」へお越しください。

■担当: 樋口・緑川・鈴木



## 「あらかわ区報希望者個別配布」 就業会員募集について

- 就業開始日: 平成27年7月から
  - 配布先: 荒川区全域 区報希望者宅
  - 募集締切日: 平成27年5月15日(金)
- 詳細については事務局までお願いします。  
TEL 03-3810-1141 担当: 大野・岩井

## 編集会員コラム

南千住駅西口に降り立つと、今までなかった俳人松尾芭蕉の銅像が見えてきます。今までの鉄道の町から、歴史と文化の街に甦ればいいなあーと感じます。南千住は奥の細道旅立ちの地そして江戸時代からの歴史ある町、まさにここがベストポジションでしょう。

